

# 平成 29 年度第 2 回やまがた出会いサポートセンター運営委員会議事要旨

平成 29 年 8 月 8 日(火) 13 時 30 分～15 時

山形県庁 12 階 1201 会議室

## 議事内容

・今年度の新たな取組みに係る協議事項について、委員からの質疑・提案を踏まえ実施することの了承を得た。

ーやまがた縁結びたいとの連携強化、マッチングシステムの機能強化、出張登録・閲覧会の拡充、会員限定イベントの実施

## 主な発言要旨

<委員>縁結びたいとの連携強化について、謝礼やセンター利用料等は発生しないのか。

<事務局>縁結びたいには謝礼を支払う予定で、センターとは別の県予算から捻出する予定で、今後細部を詰めていく。

<委員>センター事業の PR について、全戸配布する媒体への記事掲載が効果的で、「県民のあゆみ」を活用できないのか。また、縁結びたいとの連携強化は、例えば出張登録・閲覧会の時は地元の結婚支援団体が常駐し来訪者の相談に応じるなどの連携も検討してほしい。

<事務局>「県民のあゆみ」への PR 記事掲載は県部局間で競争が激しいが、今年は 9 月号に掲載予定。各市町村の婚活支援団体等との連携は検討したい。

<委員>コミュニティファンド（市民活動支援基金）に婚活支援分野を設けて、婚活イベント主催者等への支援をしており今年度は 2 件該当。H28. 11 月から縁結びたいによる結婚相談会を実施しており成婚報告は 2 件。仲人による婚活支援も重要なのでセンターと両輪で進めたい。

<委員>婚活イベント主催者に 50,000 円の補助をしており今年度は 5 件。イベントの女性集客は苦慮するが、カフェでのイベントは女性が多く集まるのでお勧め。特に女性からは過去のイベントで知り合った男性と別のイベントで再会したくないとの声が聞かれるため、その可能性が低い少人数でのイベントが良いと思う。また、参加者の年齢制限を以前の 49 歳から 39 歳に引き下げたら若い年代の参加者が増えたように感じる。

<委員>システムの機能強化について、3 人までのお見合いの申し込みが可能になるが、その優先順位はつけるのか。昨年度にボルダリングを盛り込んだイベントを実施したところ女性の参加者が多かった。今後も工夫したイベント等を実施していきたい。

<事務局>3 人は優先順位を付け、第 1 順位の人から断られた時に次順位の人に申し込む仕組みとなる。

<委員>広域の婚活実行委員会で大人数のイベントを開催しているが参加者が集まらなくなって

きており、今後は少人数のイベントの回数を増やしていく予定。昨年度に婚活イベント主催者への補助事業を計画したが申請はなかった。

<委員>参加費を徴収して不特定多数を募集する小旅行型のイベントを実施する場合は、旅行業法の登録事業者を主催者としなければならないので注意が必要。また、図書館でのイベント等の案が出ている。

<委員>今年度、婚活イベント主催者へ 100,000 円の補助事業を行っているが現在まで申請なし。婚活支援員が活動しているが高齢化に伴い町と連携して活動できないか等の話がでてい

<委員>システムによるマッチングだけで従来の仲人も重要な取組みと考える。仲人活動者には成婚報酬 50,000 円を設けているがこれまで該当なし。

<委員>機関紙や会議等で情報提供は積極的に協力したい。会員男女比 2:1 で女性会員が少ないが、山形市の 20・30 代の会員数だけを見ると女性の方が多い。システムを利用して本気で婚活している層だと思うので、この女性をターゲットに事業を進めることも重要ではないか。

<委員長>現実的にマッチングの状況はどのようになっているのか。

<事務局>男性は 30~40 代前半の会員がお引き合わせまで進むケースが多いが、なかなか交際までいかない。女性は 20~40 代の会員が平均的にお引き合わせを申し込まれている。

<委員>センター登録料の助成を行っている市町村はどのくらいあるのか。婚活支援策に関するアンケート結果でマッチングシステムとの回答があり金銭的支援により登録者増加に繋がるか参考としたい。

<事務局>最上町と舟形町で半額 5,000 円の補助がある。西川町は単発のイベント時における申し込み限定での助成があった。一般的に役場での申請に抵抗がある方が多いようで、最上町の登録者は補助を利用しない人もいる。

<委員>男性のスキルアップを様々な分野の講師に依頼しセミナー等を実施したがうまくいかなかった。今後もセミナーの取組みを行いたいが、ぜひセンターと連携してできればと思う。

<事務局>男性をどう変えるかという点では、一昨年より婚活自分力UPプログラムを実施している。昨年度までの実績では、参加者は多くはないがプログラム後の成婚率が高く効果があると評価している。ぜひこのプログラムへの参加について検討してもらいたい。

会員限定イベントの企画意図は、今年度から実施している「知事と若者の地域創成ミーティング」で地元のイベントでは知人に会う可能性が高く参加しにくいとの意見があったため、広範囲で会員限定で、会員であるメリットを持たせたイベントを実施したいと考えたもの。

<委員>男性会員は若い女性会員に引き合わせの申込みをし、うまくいかないとのことだが、その理由の一つは子どもがほしいという気持ちが強いからではないか。40 代以上の会員登録者（男性 420 名、女性 82 名）が幸せな結婚をしてもらうためには、子どもを目的としない結婚、仲よし夫婦という形もあるということ伝えてはどうか。